



香川大学はこんな大学を
目指します

香川大学改革構想

—個性と競争力の発揮を目指して—

平成17年3月



理念

世界水準の
教育研究活動により、
創造的で人間性豊かな
専門職業人・
研究者を養成し、
地域社会をリードすると
ともに共生社会の
実現に貢献する。



目標

教育

- 豊かな人間性・倫理性を
備えた人材育成
- 幅広い基礎力と高度な専門性を
備えた人材育成
- 国際的に活動できる人材育成

- 世界水準の研究
- 医・工・農等の異分野の協力
- 評価に基づく資源の配分

研究

- 学術・文化・生涯学習の
拠点としての活動
- 産学官の一環の連携
- 積極的な情報発信

地域貢献



「地域に根ざした学生中心の大学」を目指します

香川大学は、「地域に根ざした学生中心の大学」として個性と競争力を高めます。そのために、教育と研究の基盤を強固にします。

○学問・研究の面白さを教えることによって、学生の知的好奇心を刺激します。それによって学生の持つ潜在能力を引き出し、社会のニーズに対応した幅広い専門職業人を育成する大学を目指します。

○創造的、展開的、統合的研究を展開し、研究の高度化を推進します。その成果を地域社会や世界



「出口からみた教育を重視する大学」を目指します

学習意欲の高い学生を集め、社会の要請に応える人材の育成に力を注ぎます。そのために学生が十分な付加価値を身につけることのできる質の高い教育を実践します。同時に、大学の目標に合致した入学者選抜を行うとともに、卒業後の進路確定率100%を目指した支援体制を構築



「夢を紡ぎ出す研究を大切にする大学」を目指します

高等教育は独創的な研究に支えられています。独創的な研究には夢があります。世界的研究拠点の形成も視野に入れて、夢を語る事ができる質の高い研究を行います。その研究に裏打ちされた教育カリキュラムを展開することによって、学生の知的創造性を喚起し、学問(研究)の面白さを体得できる教育を実践します。

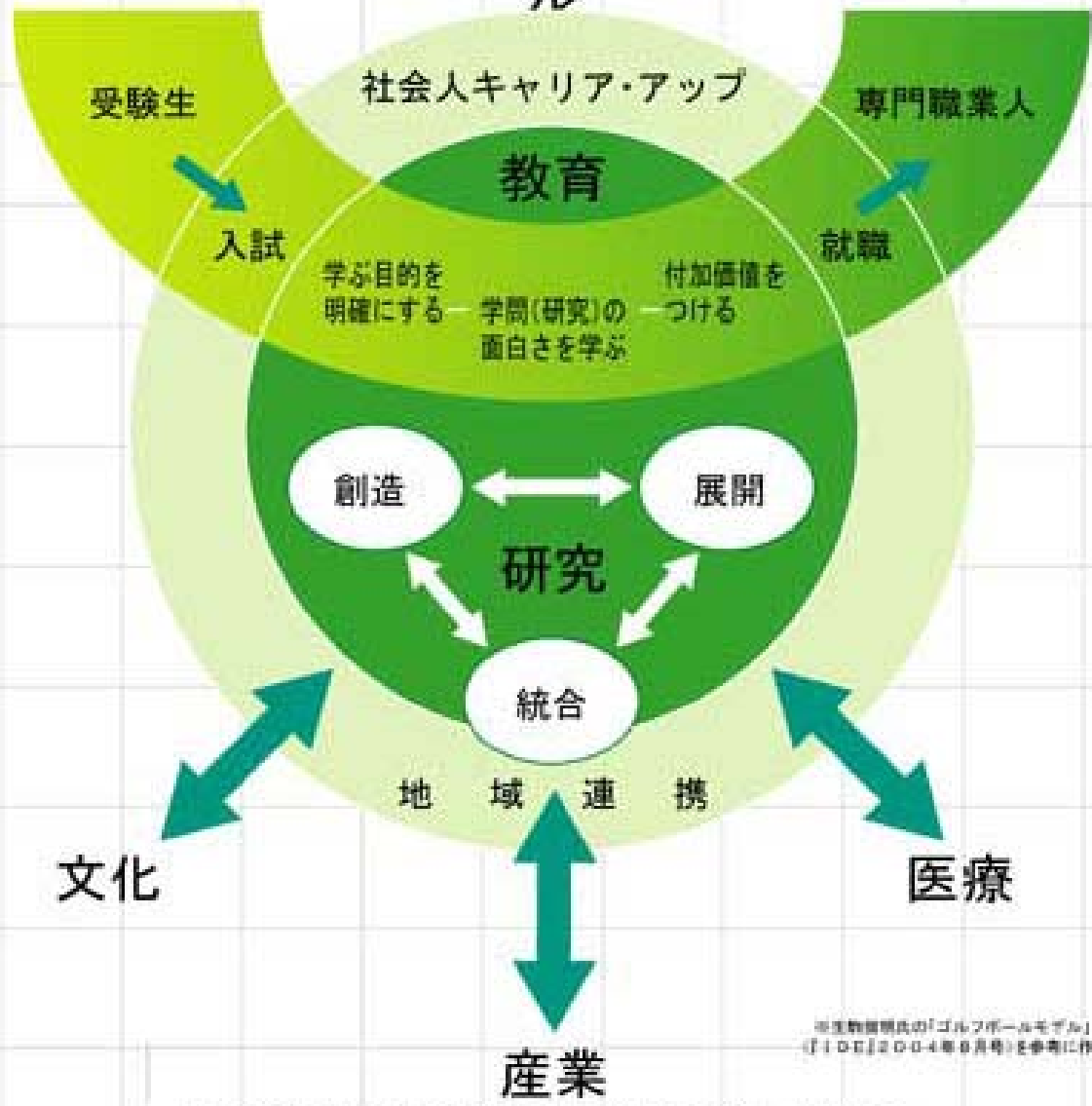


「地域と共に歩む大学」を目指します

ユニバーサル・アクセス(誰もが何時でも学べる高等教育)の実現に向けて、地域社会の人々の多様な学習ニーズに対応した教育プログラム、コースを開発します。同時に、優れた研究をもとに地域との連携を推進し、地域産業の活性化、医療レベル等の向上に貢献します。



香川大学のコアとシェル



※生物資源学部の「ゴルフボールモデル」(『105』2014年6月号)を参考に作成

学問の自由にもとづく教育・研究を「コア」、社会との接点を「シェル」ととらえ、両者の結びつきをより強めながら、大学の発展を目指します。目指すべき方向は「地域に根ざした学生中心の大学」です。



研究

■ 研究の高度化を
推進するために

研究推進体制を強化します

● 研究インフラを整備するとともに、適切な評価体制のもとに重点的な財政支援を行います。

● 研究支援センターの機能を強化するとともに、重点プロジェクト研究へ教員等の戦略的な配置を行います。

● 研究施設・設備等の高度化を促進します。

● プロジェクト研究や萌芽研究等を推進するため、研究評価に基づき、研究支援経費、学長裁量経費、国際交流基金等を重点配分します。

外部資金の積極的 導入を図ります

● 研究活動を積極的に外部に発信するとともに、外部資金の積極的導入を図る体制を確立し、より多くの研究資金の集まる大学を目指します。

● 研究活動を公開し、研究成果の広報活動を徹底します。

● 民間機関等との共同研究を推進します。

● 知的財産創造サイクルを確立します。

● 研究者個人の獨創性を尊重するとともに、研究者や研究組織が互いに連携し、研究活動を高度化します。重点課題については大学が政策的誘導、重点的研究資金投入を行います。

研究活動をより 活性化させます

● 学部・大学院および学内研究センターの研究を活性化させ、先端的研究を創出するとともに、分野を越えた横断的プロジェクト研究や若手研究者を中心とする萌芽的研究を育成します。

● 学内の領域横断的な共同研究を推進し、重点研究領域を育てます。

● 希少難研究の国際拠点化を推進し、実用化への展望を開きます。

● 獨創的な付加価値に富む萌芽研究を推進し、国際競争力を持つ研究者を育てます。

● 人文社会科学プロジェクト研究や文理融合型プロジェクト研究を推進し、現代社会の諸課題に取り組みます。

● 教員の研究活動評価を行い、研究水準を向上させます。



地域連携

地域連携の充実に向けて

教育と研究の成果を地域社会に発信し、地域の教育、文化、産業、医療等の発展に貢献するとともに、地域社会が抱える諸問題の把握と解決に向けた学問的取り組みを行い、「地域に根ざした大学」を目指します。

教育・文化の拠点になります

- 1 世紀型市民の学習需要に応え、幅広い層の学生を受け入れます。
- 2 授業の公開や市民公開講座、初等中等教育への参加（出前授業）、講演・研修会等への参加を積極的に推進します。
- 3 社会人を対象とする教育プログラム、コースを充実させます。

産学連携を推進します

大学の知的財産の管理、活用体制を整え、研究シーズを地域産業の活性化のために積極的に活用できるようにします。

- 産学官の連携・地域連携による研究を推進します。
- 研究成果の知財化、知財の活用を促進します。
- 教員等によるベンチャー企業等の創出を図ります。

地域医療の中核となる大学を目指します

地域医療の中核機関として、香川県の医療レベルの向上に貢献します。

- 救命救急センターの充実、総合周産期母子医療センターの整備等による高度医療・集学的医療の提供、高度先進医療の研究支援を行います。
- 臨床教育研修センターを充実し、卒前・卒後教育及び地域の医師・歯科医師、コメディカルスタッフの生涯教育や市民への公開講座等をより一層推進します。

- 地域医療機関からの紹介患者予約システムの充実整備を図ります。
- 地域医療施設とのネットワークの拡充を図り、遠隔診断支援を推進します。

- 頻度の高い疾患についての治療法等の説明書・パンフレットの配布やインターネットを通じて、各種医療情報